

フォローアップ事業「JENESYS 日韓次世代会議」の記録

1. 事業概要

【目的】本事業では JENESYS 事業参加経験を有する日韓両国の大学生・社会人等がプログラム参加経験を生かして日韓それぞれの国が抱えている課題をテーマにディスカッションを行い、オンライン及びオフラインのハイブリッド式で開催された本会議で発表と意見交換をしました。

両国の社会問題に関する意見交換を通じ、今後の日韓間における相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的に実施したものです。

【参加者】1 月 13 日 JENESYS 事業に参加経験のある日韓両国の大学生・社会人等
(日本側 7 名、韓国側 (在韓国日本国大使館公報文化院選抜) 9 名)

【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応 (参加者の人数 実績)
1 月 13 日	【第 1 セッション】 テーマ関連意見出し、発表準備	第一セッションはでは日韓それぞれの参加者同士で自国が抱えている社会の課題を挙げてディスカッションしました。日本からは「キャリア形成」「災害時の対応」「若者の政治参加」、韓国側からは「少子高齢化」「教師の権利やモンスターペアレント」「環境・災害・エネルギー」「SNS や ChatGPT」といった課題が挙がりました。 (参加者：16 名)
1 月 13 日	【第 2 セッション】 テーマ関連発表および意見交換	日韓の会場を Zoom で繋ぎ、第 1 セッションで出した意見を発表しました。日韓で似ている内容があれば、全く違う点もあり、お互いに気になる点は質問しあう等、活発な意見交換となりました。 (参加者：16 名)

2. 記録写真

	
2024 年 1 月 13 日 第 1 セッション	2024 年 1 月 13 日【テーマ関連交流】第 2 セッション

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

予備知識なくディスカッションができるか心配でしたが、むしろ新しい情報と知識を参加者のみなさんから教えてもらう機会になり、普段考えたことがなかったような社会問題についても関心を持つようになりました。

◆ 韓国 大学生

訪日団後にまた日本との交流に参加できて有意義でした。今後、両国間の問題以外にもさまざまな国際社会の問題と一緒に協力して解決していくことができればと思いました。

◆ 韓国 大学生

韓国社会と日本社会について、ディスカッションできて良かったです。特に社会で固定化してしまっている私たちの問題を深く考えることを通じて、さらに考えを広げることができる時間となりました。

◆ 日本 大学生

日本人同士の議論でも学生視点と社会人視点があって面白かったです。韓国側の話を聞いて韓国での課題について新たに知りましたが、日本と似ている点や少し違う点もあり興味深かったです。

◆ 日本 社会人

普段仕事をしていてあまり社会問題に関心はありませんでしたが、話しているうちに身近に社会問題はあると感じ、それを日本、韓国側の青年と共有することができて良かったです。また、韓国の社会問題についても知ることができて有意義な時間でした。

◆ 日本 社会人

経済やキャリア、災害など日韓には共通の課題があり、それを今後解決していく上でも互いの国民同士が協力し合える状況がきているとあらためて思いました。また、国を超えて同じような環境におかれている方々がいるということが今後の日常生活での支えになると感じました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 日本側運営団体（JENESYS 同窓組織 Japan Korea Alumni Forum）

次世代会議の機会を設け、運営をサポートしていただいた皆様に深く感謝申し上げます。本会議では、日韓両国が抱える社会的課題に対して、共感性の高いものもあれば、問題背景が異なるがゆえに韓国側の新しい視点からの意見を聞くこともでき、大変勉強になりました。このように日韓の将来を担う若者が親睦を深め、協力して様々な社会問題と向き合う必要性は高く、両国の友好と更なる発展に繋がると期待しています。このようなイベントが定期的に行われるよう、私たち JKAF は今後とも日韓交流の促進に尽力していきたいです。

◆ 韓国側運営団体（JENESYS 同窓組織 Korea Japan Alumni Forum）

今回の次世代会議を通じて、たくさんのご縁をいただくことができて有意義な時間となりました。準備段階では大変なこともありましたが、それもより良いプログラムにするための大きい一歩でした。KJAF と JKAF が協力できる機会であったため、みんなで力を合わせて一生懸命準備し、日韓関係を含めた両国の問題について悩み、話し合う過程でお互いを思いやる心がより大きくなったと確信しています。会議を通じて韓国と日本が抱えている問題は思った以上に似ているということがわかりました。今後もこのような活動を継続し、より良い KJAF となれるよう努力していきたいです。

5. 参加者の対外発信、報道記事等

 jkaf_official 1月13日（土）に2回目となる日韓次世代会議を開催しました。 JKAFとKJAFで「日本・韓国の若者が考える自国の課題」について意見交換しました。お互いの国で似ている課題もあれば、違う視点もあり、学ぶことができました。 韓国側は、少子高齢化、教育の格差、環境問題、SNS表示についてお話ししました。 お互いの国で起きている課題もあれば、課題に関する違った視点での見方等も学ぶことができました。	 kjaf_official JENESYS 2024 연말 차세대회의 개최 지난 2024년 1월 13일, JKAF와 KJAF가 함께한 JENESYS 2024 연말 차세대회의가 개최되었습니다. 한국 대표로 참가한 JKAF는 한국 사회의 문제, 2부 세 가지 주제로 진행되었습니다. 많은 주제를 가지고 서로의 문제를 설명하면서, 함께 배우고 공동의 과제에 대해 고민해볼 수 있는 기회가 되며, 미래 세대의 성장이나 아이디어를 제시하기가 더 쉬웠고, 많은 차이를 경험할 수 있었습니다. 앞으로의 차이를 줄일 수 있는 방법을 고민해볼 수 있었으며, 차이를 줄이는 것이 중요합니다. 이번에는 JKAF와 KJAF 참가자들이 각자의 경험에서, 1부 주제인 '차세대 회의'는 한국 사회의 문제와 미래 세대의 성장에
2024 年 1 月 15 日（Instagram） JKAF と KJAF で「日本・韓国の若者が考える自国の課題」について意見交換しました。お互いの国で似ている課題もあれば、違う視点もあり、学ぶことができました。	2024 年 1 月 22 日（Instagram） 日韓両国の若者が考える現在の各国の課題について、2部構成でディスカッションをしました。似ているようで違う両国社会を理解しながら、一緒に向き合えなければいけない共通の課題について悩み、お互いの国の課題についても新し

	い視点やアイデアを提示したりもしました。今後、次世代を担っていく私たちができることについて考えることができる有意義な時間でした。
--	--

6. 本会議での発表内容（抜粋）

01 저출산 고령화 물가 등의 상승으로 살기 어려워진 한국 사회 젠더 갈등 등도 원인으로 작용 정책적인 부분 혹은 사회적 서비스 등등의 성장이 필요할 것으로 예상 저출산 고령화가 꼭 사회 문제가 많이 되지 않을 수도 있음 - 환경적인 측면에서 그 수요를 줄여 나가는 것이 해결책이 될 수도 있다.	01 問題点 / 문제점 : キャリア形成 ・仕事と子育ての両立が難しい、できない →男性：育児が取りにくい（取得率6%）女性：キャリア形成に影響 ・女性は産休、育休で男性よりも経験値が少なくなる →昇進が難しい。昇進した場合も、周りを納得させるのが難しい。 ・周りに産休・育休を乗り越えた先輩がいない（男女ともに） ・子どもを産んだ後の支援 →待機児童問題、預け先保育園、教育費 →保育士が足りない、暴力問題
--	---

本事業では、両国の参加者が自国の抱えている課題について、発表し共有しました。発表後は質疑応答を通して共通の課題や考え方の違いを理解しました。会議を通じて、両国の次世代を担う若者が手を携えながら、両国のより良い未来のために今後も相互理解を深め、友好協力関係を強化していくことの重要性について共通認識を高めました。

日本側の課題

●キャリア形成：仕事と子育ての両立が難しい。育児休暇が取りにくい点や特に女性は出産等がキャリア形成に影響し昇進が難しい等の課題がある。解決のためには預け先の保育園や教育費等、子どもを産んだ後の支援の充実が必要である。

●災害対策：災害が多い国であるが、起きた際の対応マニュアルがあまり整備されていないと感じる。避難訓練は実施しているが、避難後の避難先での過ごし方はわからない部分が多い。また、情報社会であるが故にフェイクニュースやSNSでの救助の呼びかけがあり情報が錯そうしてしまう。

●若者の投票率：若者の投票率が低いのは、選挙によって自分たちの意見が反映されている実感がないためではないか。また、政治家の世代交代が進んでおらず、政策も若者より高齢者等への支援を優先しがちである。

韓国側の課題

●少子高齢化：物価上昇によって生活が苦しい韓国社会。ジェンダーの問題や政策的な部分、社会サービスを充実させる必要がある。

●教権の侵害：小学校教諭の自殺等が社会問題となっている。過度な競争社会であることによって、私教育が強化され教権の侵害や保護者の影響力が強くなる等の弊害が発生している。

●環境、災害、エネルギー関連：

原発の持続可能性について：災害を予測することは難しいが、しっかりと対策をすることが重要である。依存度を下げていきながらも徐々に環境に優しいエネルギーの供給を増やしていくことが必要。共存しながら代替するものを探していく方向性が望ましいと思う。

防災関連：最近、韓国でも豪雨、豪雪、地震等の自然災害によって事故が発生している。制度的、物理的にさまざまな装備が必要である。

●SNS での自己顕示：

自身の生活水準に合わない、自己顕示が問題になっている。10 代の芸能人が高級ブランドのアンバサダーとなり、判断力がまだあまりない若い年代層にも高級なものが身近になっている。デジタルデトックスが必要ではないか。

●ChatGPT：人間の創造性を埋もれさせてしまう脆弱性がある。生産性や効率は大きく上がり、費用の節約等、社会的な利益となるが倫理的なガイドラインを遵守する必要がある。活用はするが、自身の意見、立場が必ず入っていなければ完成しない。それがなければ単なる情報でしかない。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金